

ブラウンハイム居住者の皆さんへ

平成26年2月 6日()
 災害に備える会 (略称: 災備会)
 委員長 稲村徹

津波避難訓練報告

平成25年11月30日(土)10時開始 天候: 晴れ

号棟	イエローサイン数	戸数	参加者数	(内訳)		
				東階段	中階段	西階段
20-1	25	(30)	26	7	7	12
20-2	23	(30)	29	11	10	8
20-3	15	(20)	19	9		10
20-4	13	(20)	11	6		5
20-5	12	(24)	13	3	3	7
21-1	22	(30)	31	9	8	14
21-2	13	(20)	15	6		9
21-3	20	(30)	36	11	11	14
合計	143	(204)	180			

(中央小で学習発表会があったので、参加できないお宅があった。)

昨年、11月30日(土)に実施したブラウンハイム津波避難訓練の結果を報告いたします。
 参加状況については上の表をご覧ください。

訓練終了後の階段での話し合いで出された主な質問・感想・課題、それについて現時点での「災害に備える会」の考えを**赤文字**でお知らせいたします。

訓練実施日について

・日曜日が参加しやすい	今後は日曜日開催の方向で検討します。
津波避難訓練で感じたこと	
・津波警報などが発令され、避難する際には周囲に知らせながら逃げる	早く気がついた人がご近所に知らせる。これが共助の第一歩です。
・階段を上がるだけでなく、プラスアルファの訓練も必要では	今後の訓練に生かしたいと思います。気がついたことがある場合にはいつでも災備会の委員にお知らせください。
・手ぶらではなく、避難時に持ち出す物を身につけて逃げる訓練も必要では	ブラウンの安全・安心は皆で作りましょう。
・避難誘導が大事だ	効果的な避難誘導を研究します。
・屋上には逃げられないのか	普段は施設していますし、実際に避難するには非常に危険です。災備会としてはお勧めできません。
・高齢者の目線での避難訓練も考えて欲しい	現在検討中です。お待ちください。
・災害時に非常ベルは鳴るのか	多分、鳴らないと考えてください。
・地震や津波の情報収集は	ラジオや携帯電話などで各自ニュースを確認し、分かった場合は声掛け避難をお願いします。

イエローサインについて

・イエローサインがベランダ手すりに結びにくい	ヒモを付け替える、マジックテープを付ける、針金ハンガーに付けるなどの工夫をしているお宅もあります。皆さんで工夫してみてください。
------------------------	--

<p>・イエローサインはいつ出すのか</p>	<p>イエローサインは無事を知らせるサインです。揺れが収まり安全が確認できたら無事なことを外部に知らせてください。</p>
<p>その他のご意見・ご質問</p>	
<p>・要介護者が在宅か通院中かを把握しておく必要があるのでは</p> <p>・夜勤のお宅など夜間の災害発生時に男手の無いお宅を把握しておく必要があるのでは</p> <p>・出入りの多い賃貸のお宅なども、どんな方が住んでいるのか把握しておく必要がある</p>	<p>いずれも非常に大切なことですが、一番大事なことは普段からのご近所づきあいで情報交換をすることだと考えています。</p> <p>各棟、各階段でよく話し合っておいてください。</p> <p>突然の災害時に公助は間に合いません。</p> <p>自助、共助(近助)を重視してください。</p>
<p>・雨などで階段が濡れた時は滑りやすく危険</p>	<p>棟理事に伝え、改善をお願いしてください。</p>
<p>・備蓄が大切だと言うことが良く分かった。</p>	<p>災備会主催の講習会にも参加してください。</p>
<p>・深夜点呼の方法はどう考えているか</p>	<p>点呼は昼間と同じ方法を考えています。</p>
<p>・中央小 横の河は津波の際に溢れる心配はないのか</p>	<p>まったく心配ないとは言えません。</p> <p>津波からの避難に関するガイドラインで調査した河川の幅は6m以下は検証していません。</p>
<p>・9. 7mの高さに避難すれば安全なのか</p>	<p>何ごとも絶対安全とは言えません。</p> <p>平成25年3月発行の神奈川県津波浸水予測図によれば横浜市が将来遭遇する可能性のある地震は過去の資料から「慶長型地震」と同規模と考えられています。それによると…</p> <p>マグニチュード8. 5相当</p> <p>予測される最大津波高 約4. 0m</p> <p>満潮時に到達する海拔 約4. 9m</p> <p>となっております。</p> <p>ちなみに、5階居室前の海拔は 約13. 7mです。</p>
<p>・3/11の大地震以来玄関チェーンをしていない</p>	<p>すぐに避難できる体制は整えておいてください。</p>

【災害に備える会より】

- ・津波には2種類あると覚えておいてください。
- 震源地が近い地震の場合は、テレビ・ラジオ・携帯電話などで津波に関する情報を入手しすぐに避難できる態勢をとってください。
- 震源地が遠い地震の場合は、すぐに避難する必要は無いと考えても良いでしょう。
- ・避難の際に絶対に守っていただきたいことがあります。
- トイレドアの上にある電気ブレーカーを落としてください。
- 復旧後の通電火災などの二次災害を防止するためです。
- 漏電している場合は無理に電気を使わずに東電の復旧工事を待ちましょう。
- 漏電しているか否かの確認方法→ブレーカーを上げて落ちたら漏電しています。使用厳禁！
- ガス栓は閉めてください。
- ホースの破損による漏水事故防止のため洗濯機の水道栓も閉めてください。
- ・外にいる時の緊急避難場所を確認しておきましょう。
- 中央小学校に逃げてはいけません。常設避難場所ではありません。
- 参考として(海拔)
- ・並木中央駅(ホーム16. 5m)(改札口 10. 0m)・並木北駅(改札口 8. 0m)です

他にも「イザ！」という時のために外出先の海拔は知っておいた方が良いと思います。

今後も「災害に備える会」の活動に積極的に参加して下さいようお願いいたします。